

書道パフォーマンス甲子園

令和5年7月23日

書道パフォーマンス甲子園（第16回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会）が7月23日（日）に愛媛県四国中央市で開催されました。本校書道部は予選を勝ち抜き、近畿ブロックの代表校として出場しました。今回は3大会ぶりで通算5回目の出場となります。部員たちは夢の舞台に向けて練習を積んできました。

今回の作品のテーマは「写真」です。時空を超えて、未来に私たちの記憶を繋いでくれる写真。そんな力に観る人が気づいてほしいという思いを込めているということでした。

大会の開会式では部長の田村さんが全選手を代表して選手宣誓を行いました。本大会に参加した107校全ての仲間の思いを代表して、感謝や抱負を交えながら見事に宣誓しました。そして、本番では、出場メンバーが息を合わせ、一緒に壁を乗り越えてきた仲間や、支えてくれた方への感謝を胸に、堂々と心を込めた演技を披露しました。

書道部の演技は私たちにもいつも感動と力をくれます。出場メンバーだけでなく、裏方で支える部員たちもいつも一生懸命です。

大会、お疲れ様。ありがとう。

これからも双星らしい書道を追求してください。



会場前にはこんなトラックが停っていました



会場ロビーの立て看板

